

# 第 1 1 期 事 業 報 告 書

令 和 3 年 度

令和3年 4月 1日から

令和4年 3月31日まで

公益財団法人 日 本 腎 臓 財 団  
東京都千代田区九段南三丁目2番7号

## 目 次

I	事業の状況	P. 1
II	処務の状況	P. 8

# I 事業の状況

## 1. 概況

- (1) 経済界、医業界の理解と関係諸学会、諸団体および一般の方々の協力を得て、総額70,010,615円の募金を行った。
- (2) 前年度に引き続き、賛助会員の増強に努めた。
- (3) 新型コロナウイルスの影響により中止した以外の研究機関・研究グループの研究調査に対する助成、学会・研究会に対する助成、公募助成、J-DOPPS第7期調査（日本における血液透析の治療方法と患者の予後についての調査）、褒賞、雑誌発行、CKD（慢性腎臓病）対策推進などの事業は、順調に遂行され、事業費は総額232,144,742円を支出した。
- (4) 透析療法従事職員研修について、インターネットを使用したオンデマンド配信において集中講義を行い、また実習研修を行った。
- (5) 日本腎臓財団各賞の受賞者座談会記録を作成した。
- (6) CKD（慢性腎臓病）医療関係者に対して公募助成を行った。
- (7) J-DOPPS第7期調査研究3年目を開始した。
- (8) 雑誌「腎臓」VOL. 44を発行した。
- (9) 雑誌「腎不全を生きる」VOL. 64、VOL. 65を発行した。
- (10) ACジャパン支援キャンペーンにおいて、前年度に引き続き、令和3年7月より新しい慢性腎臓病（CKD）啓発活動のための公共広告を展開した。また、次年度の支援キャンペーンの申請及び企画案の選定等準備を進めた。
- (11) 「CKD対策推進のための市民公開セミナー」をオンラインで開催した。
- (12) 令和3年10月、厚生労働省、長崎県などが行った臓器移植普及推進月間行事に主催として協力した。
- (13) 総事業費支出に対する助成金支出率は25.2%である。  
期末基本財産は958,166,355円である。

## 2. 募金状況

経済界、医業界、関係諸学会、諸団体および一般の方々の協力を得て総額70,010,615円の募金を行った。

## 3. 賛助会員

- (1) 令和4年3月末の会員数は815会員（942口）となり、内訳は次の通りである。
  - 1) 団体A会員 医療法人又はその他の法人及び公的・準公的施設（1口 50,000円）  
特別会員b（5～9口） 4会員（21口）  
一般会員（1～4口） 623会員（663口）
  - 2) 団体B会員 法人組織でない医療施設、医局又は団体（1口 25,000円）  
一般会員（1～4口） 48会員（53口）
  - 3) 個人会員 個人（1口 10,000円）  
特別会員a（10口以上） 2会員（20口）  
特別会員b（5～9口） 7会員（35口）  
一般会員（1～4口） 131会員（150口）

(2) 令和3年4月～令和4年3月末の入会者は次の通りである。

- 1) 団体A会員            2会員 (2口) (敬称略・順不同)  
    一般会員 (1～4口)  
    愛知・医療法人 知邑舎 メディカルサテライト知多  
    愛知・医療法人 知邑舎 メディカルサテライト岩倉

2) 団体B会員            該当無し

- 3) 個人会員            6会員 (8口) (敬称略・順不同)  
    一般会員 (1～4口)  
    青森・S. N.  
    富山・橋本 正  
    広島・鎌田 直博  
    香川・西山 成  
    熊本・田尻 一哲  
                            (他1名)

#### 4. 研究・学会・支援助成事業

腎臓に関する学会開催・運営、及び腎臓に関する研究会など研究団体が実施する研究・調査活動等を支援するための助成

助成審査委員会において各案件ごとに審査の上、次の研究機関、研究グループ、研究課題および研究会、学会に対して53,184,000円の助成を行った。

- |   |     |             |
|---|-----|-------------|
| (1) 研究助成 (敬称略)  | 8案件 | 44,920,000円 |
| 1) 城東地域の腎臓病の病態と治療研究会<br>医療法人社団 靱生会 メディカルプラザ篠崎駅西口・<br>佐中 孜 |     | 500,000円    |
| 2) 腎疾患の発症・病態生理と進展防止に関する研究会<br>東京女子医科大学 腎臓内科学・新田 孝作        |     | 11,875,000円 |
| 3) 電解水透析研究会<br>聖路加国際病院 腎臓内科・中山 昌明                         |     | 2,170,000円  |
| 4) 腎泌尿器癌研究会<br>東京女子医科大学 泌尿器科・高木 敏男                        |     | 14,000,000円 |
| 5) 日本女性腎臓病医の会<br>京都華頂大学・武曾 惠理                             |     | 1,150,000円  |
| 6) 千葉大学先端応用外科学教室記念事業<br>千葉大学大学院医学研究院 先端応用外科学・松原 久裕        |     | 11,225,000円 |
| 7) 高知県腎泌尿器疾患研究会<br>高知大学 医学部 泌尿器科学講座・井上 啓史                 |     | 1,500,000円  |

- 8) 腎不全研究会  
東海大学医学部 腎内分泌代謝内科・深川 雅史 2,500,000円
- (2) 学会助成 (敬称略) 6案件 8,264,000円
- 1) 日本透析クリアランスギャップ研究会学術集会  
(第15回) 医療法人社団 善仁会 横浜第一病院・  
宮本 雅仁 313,000円
- 2) 日本腎不全看護学会学術集会・総会  
(第24回) 日本赤十字九州国際看護大学 看護学部・  
中村 光江 846,000円
- 3) 日本透析アクセス医学会学術集会・総会  
(第25回) 医療法人社団 クレド さとうクリニック・  
佐藤 純彦 2,764,000円
- 4) 日本急性血液浄化学会学術集会  
(第32回) 埼玉医科大学 総合診療内科・  
中元 秀友 2,365,000円
- 5) 腎移植・血管外科研究会  
(第37回) 藤田医科大学医学部 腎泌尿器外科学教室・  
白木 良一 665,000円
- 6) 日本泌尿器科学会 東部総会  
(第86回) 旭川医科大学 腎泌尿器外科・  
柿崎 秀宏 1,311,000円

## 5. 公募助成事業

腎臓に関する研究と腎不全医療の発展を支援し、腎疾患の予防、腎疾患患者のQOL向上を図るため、CKD（慢性腎臓病）病態研究助成として、「腎性貧血」「腎性骨症」に対する研究助成

令和3年11月24日、Zoomを使用したオンラインにて開催した選考委員会に於いて、令和3年度対象者下記18名に対して11,800,000円の助成を決定した。

(敬称略)

1. 東京大学医学部附属病院 腎臓・内分泌内科 西 裕志
2. 東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科 齊藤 弥積
3. 関西医科大学 iPS・幹細胞再生医学講座 人見 浩史
4. 北里大学獣医学部 実験動物学研究室 佐々木 宣哉
5. 徳島大学大学院 医歯薬学研究部・臨床食管理学分野 増田 真志
6. 名古屋市立大学 腎臓内科 村島 美穂
7. 自治医科大学附属さいたま医療センター 栄養部 大河原 晋
8. 独立行政法人国立病院機構京都医療センター 臨床研究センター  
展開医療研究部・先端医療技術開発研究室 和田 啓道

9. 大阪大学大学院医学系研究科 腎臓内科学 勝間 勇介
10. 徳島大学 医歯薬学研究部 応用栄養学分野 塩崎 雄治
11. 奈良県立医科大学 腎臓内科学 江里口 雅裕
12. 岐阜薬科大学 生命薬学大講座生化学研究室 五十里 彰
13. 公立大学法人 大分県立看護科学大学 看護学部 人間科学講座 岩崎 香子
14. 東海大学医学部 腎内分泌代謝内科 中川 洋佑
15. 東京慈恵会医科大学 分子疫学研究部 浦島 充佳
16. 九州大学大学院医学研究院 附属総合コホートセンター 中野 敏昭
17. 東邦大学医療センター大森病院 青木 裕次郎
18. 新小山市民病院 腎臓内科 増田 貴博

## 6. 調査研究事業

腎疾患さんの治療の向上と普及を図るため、腎臓に関する調査研究として、J-DOPPS第7期調査（日本における血液透析の治療方法と患者の予後についての調査）の実施

- (1) 令和3年7月よりJ-DOPPS第7期調査研究3年目に入った。  
研究実施施設のうち1施設が研究を中止した。
- (2) 研究計画書に基づき、研究実施施設より透析登録調査、患者背景調査、患者経過調査、研究実施責任医師調査等のデータ収集を継続した。
- (3) 令和3年6月6日、第66回日本透析医学会学術集会・総会にてDOPPSシンポジウムをハイブリッド形式にて開催し、来場者数54名、視聴者数133名であった。
- (4) 令和3年11月、倫理審査委員会へ継続申請を行い承認を得た。
- (5) ステアリング委員会
  - ・令和3年5月16日 メール会議にて、J-DOPPS CLIPの選考に係る選考条件・基準について話し合った。
  - ・令和3年7月15日 Zoomを使用したオンライン会議にて、論文化支援グループ担当SC、J-CLIP2017研究中止申請および協賛企業からの研究申請について話し合った。
  - ・令和3年8月11日 Zoomを使用したオンライン会議にて、協賛企業からの研究申請について話し合った。
  - ・令和4年1月17日 Zoomを使用したオンライン会議にて、第67回日本透析医学会 DOPPSシンポジウムプログラムおよび協賛企業からの研究申請について話し合った。
  - ・令和4年3月4日 Zoomを使用したオンライン会議にて、第67回日本透析医学会 DOPPSシンポジウムプログラムについて話し合った。
- (6) 研究論文作成支援プロジェクト J-DOPPS CLIP  
令和3年6月7日 Zoomを使用したオンライン会議にて、J-DOPPS CLIP2020のRQ採択会議を開催し、次の4名のリサーチクエストを採択した。

- ・東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科 中島 章雄
- ・大阪公立大学大学院 医学研究科 腎臓病態内科学 森 克仁
- ・昭和大学 医学部内科学講座 腎臓内科学部門 井芹 健
- ・名古屋市立大学 腎臓内科 村島 美穂

また、今年度も令和3年12月1日から令和4年1月31日までJ-DOPPS CLIP2021の募集を行った。

- (7) 財団ホームページにて、J-DOPPSの集計データDopps Practice Monitor (DPM) を公開した。

## 7. 透析療法従事職員研修事業

透析に携わる医療従事者の透析医療の基礎的な知識と技術の向上を目指すための研修の実施

- (1) 令和3年8月9日～31日、インターネットを使用したオンデマンド配信にて、医師、看護師、准看護師、臨床工学技士、臨床検査技師、衛生検査技師、管理栄養士、栄養士、薬剤師を対象に集中講義を行い、引き続き全国170の実習施設指定施設に於いて、医師は35時間（1週間）、看護師、准看護師、臨床工学技士は70～140時間（2～4週間）の実習を行った。受講者総数は1,320名、そのうち実習修了者226名に対し、修了証書を交付した。
- (2) 令和3年12月6日、Zoomを使用したオンラインにて透析療法従事職員研修運営委員会を開催し、令和3年度の報告と令和4年度の企画立案を行った。

## 8. 褒賞事業

腎臓学の研究に関する注目すべき業績に対する褒賞

- (1) 令和3年6月11日、新型コロナウイルスのため延期となっていた令和3年度日本腎臓財団賞、学術賞、功労賞の表彰をZoomを使用したオンラインにて行った。
- (2) 令和3年11月2日、Zoomを使用したオンラインにて褒賞選考委員会を開催し、令和4年度日本腎臓財団賞・学術賞の受賞者選考を行い、次の3名の表彰を決定した。

(敬称略)

日本腎臓財団賞	松尾清一	(名古屋大学 総長)
学術賞	堀江重郎	(順天堂大学大学院 医学研究科 泌尿器外科学 教授)
学術賞	山縣邦弘	(筑波大学 医学医療系 腎臓内科学 教授)

また、功労賞は次の1名の表彰を財団運営会議にて決定した。

(敬称略)

功 勞 賞 上 月 正 博 (東北大学大学院 医学系研究科  
障害科学専攻 機能医科学講座 内部障害学分野 教授)

令和4年2月18日、Zoomを使用したオンラインにて令和4年度日本腎臓財団賞、学術賞、功労賞の表彰を行った。

- (3) 令和3年9月27日、Zoomを使用したオンラインにて令和3年度日本腎臓財団賞・学術賞・功労賞の受賞者座談会を開催し、座談会記録を雑誌「腎臓」VOL. 44に収録した。

## 9. 雑誌発行事業

### (1) 雑誌「腎臓」

腎臓に関する医療者を対象として治療・研究などの情報掲載した雑誌の発行

- 1) 雑誌「腎臓」VOL. 44を3,300部発行し、関連医療施設に無償で配布した。
- 2) 令和3年8月17日、Zoomを使用したオンラインにて編集委員会を開催し、VOL. 44及び今後の企画について話し合った。

### (2) 雑誌「腎不全を生きる」

透析患者さん・およびご家族の方々を対象に腎臓病に関する知識や情報、栄養・食事・クスリ・合併症等、日々の治療・生活に役立つ雑誌の発行

- 1) 雑誌「腎不全を生きる」VOL. 64を40,000部、VOL. 65を39,000部発行し、関連医療施設に無償で配布した。
- 2) 令和3年4月16日、Zoomを使用したオンラインにて編集委員会を開催し、VOL. 64の企画について話し合った。
- 3) 令和3年8月20日、Zoomを使用したオンラインにて編集委員会を開催し、VOL. 65及び今後の企画について話し合った。
- 4) 令和4年3月25日、Zoomを使用したオンラインにて編集委員会を開催し、VOL. 66及び今後の企画について話し合った。

## 10. CKD (慢性腎臓病) 対策推進事業

CKDの正しい知識と予防の大切さを一般の方に広く知っていただき、CKD予防の促進を図るための事業

- (1) ACジャパン支援キャンペーンにおいて、前年度に引き続き慢性腎臓病 (CKD) 啓発活動のための公共広告を展開した。また、次年度の支援キャンペーン企画案の選定等準備を進めた。



## (2) CKDセミナー オンライン

令和4年2月26日、朝日新聞社スタジオに於いて、『CKDセミナー「えっ!? 8人に1人が・・・あなたも慢性腎臓病（CKD）の予備群かもしれない。」』と題し、922名の参加者を得て慢性腎臓病（CKD）についてのセミナーをオンライン開催した。後日、朝日新聞全国版朝刊土曜別刷「be」、朝日新聞デジタルに記事を掲載した。

## (3) 冊子作成

慢性腎臓病（CKD）予防の大切さを一般の方に広くご理解いただくための冊子「CKDをご存知ですか?～腎臓を護ることは命を守ることです」を7,000部作成した。

## 1.1. 臓器移植普及推進月間活動に対する協力

移植医療について広く一般にご理解いただき、腎臓移植を推進するための協力

令和3年10月、臓器移植普及推進月間の諸行事、及び10月24日、長崎県長崎ブリックホール国際会議場にて開かれた第22回臓器移植推進国民大会に厚生労働省、長崎県、日本臓器移植ネットワークと共に主催として協力した。

## Ⅱ 処 務 の 状 況

### 1. 役員に関する事項

#### (1) 役員

令和3年6月11日現在（50音順）

会 長	高 部 豊 彦	元東日本電信電話株式会社 代表取締役社長、 日本郵便株式会社 社外取締役
理 事 長	秋 澤 忠 男	昭和大学医学部内科学講座腎臓内科学部門 客員教授
理 事	相 京 重 信	元SMB C日興証券株式会社 会長、 橋本総業ホールディングス株式会社 社外取締役
理 事	秋 田 瑞 枝	弁護士、ひのき総合法律事務所 所長
理 事	五十嵐 隆	国立研究開発法人国立成育医療研究センター 理事長
理 事	伊 藤 貞 嘉	公立刈田総合病院 特別管理者
理 事	内 山 英 世	公認会計士、朝日税理士法人 顧問
理 事	中 川 隆 進	元日本銀行政策委員会 政策委員
理 事	中 山 恒 博	東海東京フィナンシャル・ホールディングス株式 会社取締役、三井不動産株式会社 取締役
理 事	平 方 秀 樹	医療法人医心会福岡腎臓内科クリニック 理事長
理 事	平 田 純 生	I & H株式会社 学術顧問
理 事	前 波 輝 彦	医療法人あさお会あさおクリニック 理事長
監 事	大 塚 美智子	公認会計士、大塚公認会計士事務所 所長
監 事	原 茂 子	原プレスセンタークリニック 院長

(2) 役員会

開催年月日・場所	議 案	議 事 結 果
第30回理事会 令和3年5月21日 公益財団法人 日本腎臓財団会議室 (Zoomを使用したオンラインにて開催)	1. 令和2年度(自令和2年4月1日から至令和3年3月31日)事業報告及び決算報告承認の件	原案どおり 満場一致で可決
	2. 評議員会の日時、場所及び目的である事項等の件	原案どおり 満場一致で可決
	3. 顧問選任の件	原案どおり 満場一致で可決
第31回理事会 令和3年6月11日 公益財団法人 日本腎臓財団会議室 (Zoomを使用したオンラインにて開催)	1. 代表理事並びに業務執行理事選定の件	原案どおり 満場一致で可決
第32回理事会 令和4年2月18日 公益財団法人 日本腎臓財団会議室 (Zoomを使用したオンラインにて開催)	1. 令和4年度(自令和4年4月1日から至令和5年3月31日)事業計画・正味財産増減予算書承認の件	原案どおり 満場一致で可決
	2. 評議員会の日時、場所及び目的である事項等の件	原案どおり 満場一致で可決
	3. J-DOPPS ステアリング委員会規程・褒賞選考委員会規程 一部改訂承認の件	原案どおり 満場一致で可決
	4. 設備投資および資金調達承認の件	原案どおり 満場一致で可決
	5. 一般寄付金の使途承認の件	原案どおり 満場一致で可決
	6. 顧問選任の件	原案どおり 満場一致で可決

## 2. 評議員に関する事項

### (1) 評議員

令和3年6月11日現在（50音順）

氏名	勤務地
安藤 亮一	医療法人社団清湘会清湘会東砂病院 副院長
伊丹 儀友	医療法人友秀会伊丹腎クリニック 理事長
伊藤 秀一	横浜市立大学大学院医学研究科発生成育小児医療学 主任教授
上田 善彦	獨協医科大学 名誉教授
内田 明子	聖隷佐倉市民病院 総看護部長
大石 義英	東亜大学医療学部医療工学科 教授
鎌田 直博	特定医療法人あかね会土谷総合病院薬剤部 師長
衣笠 えり子	昭和大学横浜市北部病院内科 客員教授
小林 修三	医療法人沖繩徳洲会湘南鎌倉総合病院 院長代行
小林 美奈	弁護士、古賀総合法律事務所
西 慎一	神戸大学大学院医学研究科腎・免疫内科学分野 腎臓内科学部門 教授
西沢 邦浩	日経BP社日経BP総研メディカル・ヘルスラボ 客員研究員
新田 孝作	東京女子医科大学内科学講座腎臓内科学分野 教授・基幹分野長
長谷川 芳樹	弁護士、創英国際特許法律事務所 所長
深川 雅史	東海大学医学部内科学系腎内分泌代謝内科 教授
八木澤 隆	独立行政法人地域医療機能推進機構うつのみや病院 病院長
山本 裕康	東京慈恵会医科大学腎臓・高血圧内科 教授
和田 隆志	金沢大学大学院医薬保健学総合研究科腎臓内科学 教授

## (2) 評議員会

開催年月日・場所	議案	議事結果
第24回評議員会 令和3年6月11日 公益財団法人 日本腎臓財団会議室 (Zoomを使用したオンラインにて開催)	1. 令和2年度(自令和2年4月1日から至令和3年3月31日)事業報告及び決算報告承認の件	原案どおり 満場一致で可決
	2. 理事選任の件	原案どおり 満場一致で可決
第25回評議員会 令和4年2月18日 公益財団法人 日本腎臓財団会議室 (Zoomを使用したオンラインにて開催)	1. 令和4年度(自令和4年4月1日から至令和5年3月31日)事業計画・正味財産増減予算書承認の件	原案どおり 満場一致で可決

### 3. 許可・認可に関する事項

令和4年3月2日、府益担第287号にて租税特別措置法施行令第26条の28の2第1項に規定する要件を満たしていることの証明書「税額控除に係る証明書」の交付を受けた。

### 4. 契約に関する事項

該当事項なし

### 5. 登記に関する事項

令和3年8月24日、代表理事の重任登記、理事の退任・就任・重任登記、評議員の退任・就任登記、会計監査人の重任登記を行った。

### 6. 行政庁指示に関する事項

該当事項なし

### 7. その他特記事項

該当事項なし

以上

## 令和3年度事業報告附属明細書

令和3年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。